

1 次の計算をなさい。

$$(1) \frac{5}{7} \times \frac{3}{4} = \frac{5 \times 3}{7 \times 4} = \frac{15}{28}$$

$$(2) \frac{5}{8} \times \frac{4}{5} = \frac{\overset{1}{\cancel{5}} \times \overset{1}{\cancel{4}}}{\underset{2}{8} \times \underset{1}{\cancel{5}}} = \frac{1}{2}$$

計算の途中で約分できるときは、約分してから計算すると簡単です。

$$(3) \frac{2}{3} \div \frac{5}{7} = \frac{2 \times 7}{3 \times 5} = \frac{14}{15}$$

$$(4) 4 \div \frac{9}{2} = \frac{4 \times 2}{1 \times 9} = \frac{8}{9}$$

2 次の計算をなさい。

$$(1) (+6) + (-6) = 6 - 6 = 0$$

$$(2) 3 - (-5) = 3 + 5 = 8$$

正の数、負の数をひくことは、その数の符号を変えて加えることと同じです。

$$(3) (-6) \times (+2) = -12$$

$$(4) 5 \times (4 - 7) = 5 \times (-3) = -15$$

$$(5) -5^2 = -(5 \times 5) = -25$$

$$(6) 2 \times (-3)^2 = 2 \times (-3) \times (-3) = 2 \times 9 = 18$$

※次のページにも、問題があります。

3

次の各組の数の大小を表す不等号を□の中を書きなさい。

(1)  $+2$   $\square$   $-1$

(2)  $-6$   $\square$   $-4$

負の数どうしを比べるときは、その絶対値が大きいほど小さくなります。

(3)  $+\frac{2}{3}$   $\square$   $+\frac{5}{7}$

(4)  $-0.9$   $\square$   $-\frac{4}{5}$

$$+\frac{14}{21} < +\frac{15}{21}$$

分数どうしを比べるときは、通分し、分母をそろえてから比べます。

$$-0.9 < -0.8$$

または、 $-\frac{9}{10} < -\frac{8}{10}$

大きさを比べるときは、小数どうしや分母の等しい分数どうしにそろえてから比べます。

4

次の計算をしなさい。

文字が同じ項や数の項それぞれを集めて計算します。

(1)  $(5x - 3) + (-2x + 1)$   
 $= 5x - 3 - 2x + 1$   
 $= 5x - 2x - 3 + 1$   
 $= 3x - 2$

(2)  $(-0.2x - 1) - (-0.5x + 1)$   
 $= -0.2x - 1 + 0.5x - 1$   
 $= -0.2x + 0.5x - 1 - 1$   
 $= 0.3x - 2$

(3)  $(x - 4) - 3(8x - 3)$   
 $= x - 4 - 24x + 9$   
 $= x - 24x - 4 + 9$   
 $= -23x + 5$

(4)  $(-10x + 20) \div (-5)$   
 $= 2x - 4$

(5)  $(3x - 6) \times \frac{1}{6}$   
 $= \frac{1}{2}x - 1$